

トラフグの放流について、下記内容で大阪府を通じて令和5年7月13日に報道提供を行いました。

栽培漁業センターで育ったトラフグの稚魚を大阪湾に放流！
大阪湾でのトラフグ漁獲量の回復を目指します。

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の魚介類資源を増やすため、キジハタやトラフグなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさにまで成長させて放流する「つくり育てる漁業(栽培漁業)」を推進しています。

このたび、トラフグの稚魚が放流に適した大きさに成長しましたので、下記により放流を行います。

記

1 放流対象種 トラフグ

2 放流尾数 16,000尾(サイズ:全長7cm)

3 放流日時・放流場所・放流尾数

令和5年7月20日(木曜日) 11時00分から 大阪北港マリーナ

令和5年7月21日(金曜日) 11時00分から 貝塚市二色の浜

※放流尾数は、各箇所につき約8,000尾です。

4 その他 中間育成および放流については、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターの技術指導を受けています。

